

図書館員の四季

変困難な仕事を選ぼうとしている学生たちを
応援したい。彼女たちの良き“書物案内人”
になれるよう努力したい。

◇ ◇ ◇

12年を振り返って

茅ヶ崎徳洲会総合病院
竹村悦子

当院はJR東海道線の茅ヶ崎駅から徒歩5分、
湘南海岸の近くです。ここは夏ともなると
サーフボードを片手にかかえた若者達の姿が
多くなります。

横浜からこの図書室に通って12年経ちまし
た。周りに救急施設が増えたとはいえ救急車
の受入数は昨年1年間だけでも茅ヶ崎市の全
体の56%、1日平均8台ほどです。

当時の図書室の業務は文献複写申込（年間
1600件）が主で一日中タイプライターから離
れることがありませんでした。いったい何し
に図書室に来ているのだらう、他のことは手
付かずとずいぶん悩みました。とにかく細
かいことは目をつぶりました。幸い文献複写
に関しては近辺の大学・病院の図書室、近病
図が受けて下さり、どれほど有り難かったか
知れませんが、今年他から受ける依頼も450件
ほどになり、微力ながら他の図書室のお役に
立ちたいと思っています。

他の業務は1990年に検索用として購入した
Macを使って処理しています。検索CDは
Medline、医中誌、外科系、癌関連が揃い
（5年分ですが）、今後は看護婦や技師にも利
用者の幅を広げたいと思っています。Mac
の機能は予算の関係で容量・スピードが今一
つです。でも何より自分の能力の方があやし
いのです。

最近インターネット（わが家）でつないだ
画面を見ました。アメリカとつながっている
とは思えないほど距離感がないのです。個人
的にアメリカの学会につないでいるドクター
もいます。小さな図書室の1台のコンピュ
ーターからいち早く種々の情報がキャッチでき
る、そんな日はもうそう遠くないように思い
ます。

◇ ◇ ◇

瞑想 春夏秋冬

岐阜赤十字病院
小林佳子

岐阜赤十字病院は「長良川の鶺鴒」で名高
い清流長良川の岐阜市右岸沿いにあります。

この山紫水明の地はしばしばテレビにも放
映されており、春から秋への赤々と燃える篝
火のもと幽玄の世界へと誘う鶺鴒、春の河畔
の桜、夏の風物詩花火大会、一面雪景色の中
の屋形船など四季折々の風情は、私達市民の
心の中の故郷でもあります。

当病院はこの地に誕生して45年を経過、内
科、外科を始めとする12診療科と328床を擁
する地域中核病院として、多くの皆さんには
ぐくまれ育ってまいりました。

我が図書室も〇〇〇と云いたいところですが、
設置されて5年位、残念ながら未だ「木
曾路は夜明け前」の状態です。文献にせよ検
索にせよ、聞くこと見ることすべてが真新し
く、勉強、勉強とまでもいかず雑事に追い掛
けられて、本の背中を見る（チョット失礼）
ことだけが精一杯の毎日です。豊かな情景と
は裏腹に私の春夏秋冬は鬼ごっこの明け暮れ。
チョッピー隠れん坊の時間もホシイナ・・・。

今後ともよろしく願います。